

感染対策室の状況

(1) 概要

病院は、患者ならびに職員の安全・安心を守るために、感染対策に対する意識を高め、院内感染の予防や拡大防止を行う必要がある。その実務を担う部門として平成21年4月感染対策室が設置された。院内では感染対策のための組織として、感染対策会議 (ICC)、ICT (感染制御チーム) が設置されているが、それらの組織と協力し、感染対策上の問題のチェックや報告、相談、対策、管理を日常的に行っている。平成22年9月より感染管理認定看護師が専従となり、平成24年5月より感染防止対策加算1施設となり、連携病院との情報交換や連携を深めている。

平成26年度、日本医療機能評価機構機能評価Ver.1.0を受審し、感染対策等の組織体制、感染関連のマニュアルや指針の整備、電子カルテシステムを用いた院内感染情報の発信や把握について高い評価を得ることができた。

(2) 平成27年度の主な取り組み

<感染対策室>

- 1) 感染対策上重要な微生物の検出については細菌室との報告体制により、速やかに現場の状況確認等を行い感染対策指導や確認を実施した。
- 2) 院内、院外で発生している感染症情報について、院内LANを用いて全職員へ発信した。
- 3) 感染防止対策加算1申請後平成24年5月より入院初日に500点の加算を算定している。
- 4) 連携病院を対象とした当院感染対策室内に相談室が設置されておりコンサルテーションを実施した。
- 5) 感染対策加算連携病院や新川地域の中小病院と合同カンファレンスを4回開催し情報交換を行った。
(開催日:平成27年5月29日, 8月20日, 11月11日, 平成28年3月2日)
- 6) 加算1連携病院の評価ラウンドを相互で実施し、地域連携を図った。
(平成28年2月3日砺波総合病院への感染ラウンド実施、3月23日当院への感染ラウンド実施により相互の評価がされた)
- 7) 平成27年度は下記の施設と感染対策加算連携をしている。
※加算1連携病院: 市立砺波総合病院
※加算2連携病院: 富山労災病院、かみいち総合病院、あさひ総合病院
※新川地域連携中小病院: 坂東病院、丸川病院、魚津緑ヶ丘病院

<感染対策会議>

1) マニュアル改訂と啓発

院内感染防止に向け具体的にマニュアル改訂を実施、全職員へ周知する。

- ① インフルエンザ流行時対策、アウトブレイク、針刺し、切創、血液体液曝露事故について: HIV以外等のマニュアル改訂 (3項目以上) を行う。

⇒平成27年度は下記について改訂を実施した。

- 「インフルエンザ流行期感染対策の実際」
- 「基本的手技 8.清潔区域管理規定手術棟について」
- 「第2種感染症指定医療機関としての対応マニュアル」 「別冊追加」
- 「一般外来における感染対策」

- ② 変更内容については、医療局会・看護師長会・ICTリンク会・院内掲示板を利用し職員へ啓発する。

⇒変更時は医療局会や看護師長会で啓発、またICTリンク会では読み合わせを実施し、訂正箇所について部署への啓発を行った。

2) 職員の感染対策研修会2回以上の参加

- ① 感染対策研修会を開催し、職員が2回以上参加できるように働きかける。

⇒平成27年度は5回の感染対策研修会を実施し、欠席者に対しDVD放映会を実施し出席率を上げた。

また、医師と研修医の出席率が少ないため、医療局会を利用して感染対策研修会を実施した。

実施内容については下記を参照。1人あたり3回の出席回数となった。

開催月 講演内容 全体の出席率

- ・7月院内研修会「手洗い研修会」12:40～4回開催17:00～4回開催 (出席率 81%)
「个人防护具着脱訓練」4回開催 (出席率49%)
- ・8月20日:院外講演 森兼啓太先生 「周術期の感染防止」 17:30～18:30 (出席率71%)
- ・10月 院内研修会「標準予防策について」(1グループ講義) 17:30～2回開催13:00～1回開催 (出席率 63%)
- ・11月 院内研修会 小児科・篠崎医師「小児の冬期感染症について」 17:30～18:30 1回 (出席率 64%)
- ・12月 DVD放映:「周術期の感染防止」 17:15～6回放映
- ・1月 DVD放映会「小児の冬期感染症について」 17:15～6回放映
- ・2月 院内研修会「インフルエンザ・ノロウイルス感染症について」17:30～18:00 (医師59%、研修医62%出席)
「周術期の感染防止」「小児の冬期感染症について」の講演についてはDVD放映を6回実施したため研修会の参加人数は増加した。

前年は職員1人当たり1.38回の参加であったが、平成27年度は1人あたり3回と参加率が上昇し目標の2回を

達成することができた。また、前年の全体の出席率は39%だったが、平成27年度は65%と上昇した。

年度末に感染対策研修会に対するアンケートを作成、その結果から平成27年度の意見より講堂に入りきらない・DVDの音が悪いなどの課題が見つかった。

3) 早期の 院内感染の予防

- ①各感染指標の調査の意義とその解析をすすめ、スタッフや周囲へのフィードバックおよび感染拡大予防への啓発につなげ、院内感染件数を低下させる。
⇒平成27年度は病棟のアウトブレイクがあったが、当該部署への介入や感染対策の指導・確認などを行い10名以下(職員・入院患者9名)で終息した。普段からの標準予防策の徹底や早めの報告がなされていなかったこと等が原因と思われ、今後もしっかりと感染対策を継続していくことの重要性を痛感した。
- ②平成26年6月から(第2・第4月曜日午後)感染症内科開設あり、院内からのコンサルテーション依頼を呼びかける。
⇒平成27年度は計9件(院内8件・院外1件)のコンサルテーションがあった(前年22件:院外2件あり)。また、ICTより抗菌剤の適正使用については問題がある事例についてカルテ内へ記載を行い、必要時は感染症内科へのコンサルテーションを勧めた。

4) 抗菌薬適正使用

- ①アンチバイオグラム利用の啓発。初期治療への指標など利用拡大を目指す。
⇒アンチバイオグラムをすぐ見ることができるよう電子カルテ内マニュアルへ入れた。
また、結果については週1回感染症情報で更新された事を案内した。
- ②ICTラウンドをすすめ、抗菌薬の適正使用について関わっていく。
⇒抗菌薬の適正使用について問題がある事例についてはICTで事例検討を行いカルテ内へ記載した。
ICTラウンドは週1回以上実施を行い、年間119回(月平均9.7回)実施した。
- ③特定抗菌薬届出提出率50%以上を目指し、結果をフィードバックし、抗菌薬適正使用を推奨する。
⇒抗MRSA薬については前年34%→平成27年度81%へ、カルバペネム系抗菌薬は前年23%→平成27年度73%へと両方とも50%以上を達成した。
各医師からの自発的な届出も抗MRSA薬については前年34%→45%へ、カルバペネム系抗菌薬は前年23%→36%と増加した。

5) 地域における感染防止活動

地域における感染防止を目標に、下記を実行し相互の連携を深め感染防止のレベルを上げる。

- ①感染対策連携病院と合同カンファレンスを年4回以上開催する。
⇒平成27年度は合同カンファレンスを4回実施し、4回目からはあさひ総合病院からの参加もあり連携病院は計6病院へ増えた。カンファレンスでは相互の意見交換や感染対策の具体的な対応について情報交換を行った。
- ②当院の感染対策室内に設置されている相談室を利用してもらう(コンサルテーション件数の増加)。
⇒院外の相談については7件の相談があった。前年とあまり差がなかったが、新規の施設からの相談があった。
- ③本年度予定されている院内感染対策研修会の参加案内を毎回行い、研修会参加を呼びかける。
⇒連携病院からの参加を配慮し、合同カンファレンスの日を感染対策研修会の日と合わせ連携病院へ院内研修会の参加を呼びかけた。平成27年度は合計22名が参加された。

(3) 実績内容

1) 感染対策に関する委員会の開催実績

委員会名	設置年月日	平成27年度開催実績
感染対策会議	平成 元年4月1日	15回(定例会毎月1回、臨時3)
感染制御チーム(ICT)	平成19年4月1日	21回(定期11回、臨時10回)

5) 連携病院感染対策合同カンファレンス開催

- ①第1回合同カンファレンス:平成27年5月29日(金)16時45分～17時15分(参加者24名)
 議題:針刺し・切創・血液曝露事故の状況や事例に対する対策について
 各施設の平成26年度曝露事故報告より、曝露状況を報告し、曝露防止の対策や課題について話し合った。
- ②第2回合同カンファレンス:平成27年8月20日(水)16時30分～17時30分(参加者19名)
 議題:感染対策の視点から見た、各施設における外来トリアージ方法
 感染兆候のある患者来院時の対応について話し合った。
 黒部市民病院感染対策研修会(院外講師)への参加(参加者23名)
 山形大学医学部附属病院 検査部 部長・病院教授
 感染制御部 部長 森兼 啓太 先生
 演題:「周術期の感染防止:患者を守り、あなたを守るには？」
- ③第3回合同カンファレンス:平成27年11月11日(水)16時45分～17時15分(参加者22名)
 議題:インフルエンザ・ノロウイルス等感染性胃腸炎への感染対策
 2015/2016インフルエンザ・ノロウイルス等感染性胃腸炎の県内・国内発生状況
 各施設の職員および患者ワクチン接種状況について情報交換した。
 新川厚生センターより2名参加され、行政からの意見を聞いた。
 黒部市民病院 院内感染対策研修会への参加(参加者19名)
 講師:黒部市民病院 小児科部長 篠崎健太郎先生
 演題:小児の冬期感染症について
- ④第4回合同カンファレンス:平成28年3月2日(水)16時45分～17時20分(参加者33名)
 議題:「各施設のICTの感染対策活動について」各職種に分かれての意見交換をした。

6) 平成27年度院内感染研修会および勉強会

i) 感染研修会

開催日	対象部署	対象者	テーマ	参加人数	講演者
7月7～10日・13～16日(同じ内容計8回開催)	感染対策研修会:全部署	全職員、臨時、委託	正しい手洗い方法を学びましょう!	537名+委託129名=計666名	ICTリンク会
7月10日・13日・14日・16日(同じ内容)	感染対策研修会:全部署	全職員、臨時	個人防護具着脱訓練(カバーオール型)	225名	ICTリンク会
①8月20日 ②DVD放映:12月7日・8日・11日・16～18日	感染対策研修会:全部署	全職員、臨時、委託連携病院	周術期の感染防止:患者を守り、あなたを守るには?	①171名②290名+院外13名	山形大学医学部附属病院 感染制御部部长 森兼 啓太
10月13～15日(同じ内容3回開催)	感染対策研修会:全部署	全職員、臨時、委託	標準予防策について(正しい手指衛生のタイミング、正しいマスクの着脱方法)	401名+委託44名	ICTリンク会
①2015/11/11 ②DVD放映会:1月6日・7日・12日・15日・18日・20日	感染対策研修会:全部署	全職員、臨時、委託	小児の冬期感染症について	①208名②204名+委託9名	小児科部長 篠崎 健太郎 先生

ii) 部署別勉強会

開催日	対象部署	対象者	テーマ	参加人数	講演者
5月18日	リンクナース・リンク技師	ICTリンク会	リンクナース・リンク技師の役割	18名	感染管理認定看護師(能登)
6/11・6/12・6/15	感染症病棟勤務予定者	管理者・事務・放射線技師・看護師・臨床工学技士等	実地訓練:感染症病棟稼働時の対応について(MRES患者受診時)	39名	感染管理認定看護師(能登)
9月29・30日・10月1日(同じ内容3回実施)	14歳の挑戦	中学生	手洗い・マスクと手袋着脱演習	16名	感染管理認定看護師(能登)
11月17日	がん患者さんや家族の方の交流	患者・家族など	感染症予防のお話	患者5名+スタッフ3名	感染管理認定看護師(能登)
11月26日	外来勉強会	外来看護師	ノロウイルスについて・嘔吐物処理演習	20名	感染管理認定看護師(能登)
1月18日	NST勉強会	医師・看護師・薬剤師・栄養士・事務	感染制御と栄養管理	30名	感染管理認定看護師(能登)
3月2日	研修医レクチャー	研修医	ワクチン接種について	10名	感染管理認定看護師(能登)

iii) 新任職員へのオリエンテーション

開催日	対象部署	対象者	テーマ	参加人数	講演者
4月1日	新任医師	新任医師	感染対策・針刺しについて	19名	感染対策室長(丸山)
4月3日	新任初期研修医	新任初期研修医	標準予防策・針刺し・安全装置の使用	5名	感染管理認定看護師(能登)
4月6日	新人看護師	新人看護師	尿留置カテーテル管理・挿入演習	26名	感染管理認定看護師(能登)
2月9日	中途採用者	臨床検査技師	標準予防策・針刺し事故・医療産業廃棄物・感染対策マニュアルについて・翼状針演習	中途採用者1名	感染管理認定看護師(能登)
3月18日	新任職員事前研修会	看護師・介護福祉士等	感染対策について	37名	感染管理認定看護師(能登)

iv) 看護部感染対策研修会およびオリエンテーション

開催日	対象部署	対象者	テーマ	参加人数	講演者
5月12日	育児休暇明け介護員	介護員	感染対策について	1名	感染管理認定看護師(能登)
7月3・6・17・22・23日・8月13日(同じ内容計6回開催)	感染症病棟勤務優先予定者(看護部)	看護師	実地訓練:感染症病棟稼働時の対応について(MRES患者受診時)	26名	感染管理認定看護師(能登)
7月29日	看護部レベル I	レベル I 看護師	針刺し・切創・血液体液汚染事故	5名	感染管理認定看護師(能登)
8月5日	看護部介護員	介護員全員	標準予防策を深める	28名	感染管理認定看護師(能登)
8月26日	看護部レベル II	レベル II 看護師	疾患別感染予防対策	7名	感染管理認定看護師(能登)
9月8日	看護部介護員	介護員(8/5欠席者)	標準予防策を深める	1名	感染管理認定看護師(能登)
12月4日	看護部レベル II ~ III	看護師	標準予防策・経路別予防策を深める・グループワーク「手指衛生を実施・推進するためにはどうしていけばよいか？」	13名	感染管理認定看護師(能登)
4月7日	職場復帰および勤務異動、中途採用者看護職員研修プログラム	看護師	標準予防策・感染廃棄物・感染対策マニュアル・翼状針・留置針操作演習について	1名	感染管理認定看護師(能登)
5月8日				3名+中途採用者4名	
7月6日				5名+中途採用者1名	
7月13日				1名	
8月10日				5名	
9月7日				3名	
10月5日				3名+中途採用者1名	
10月13日				1名	
11月5日				4名+中途採用者2名	
12月7日				2名	
1月5日				1名+中途採用者1名	
2月2日				1名+中途採用者1名	
3月3日				2名	

v) 院外講演活動

開催日	主催	対象者	テーマ	参加人数	講演者
7月30日	富山県看護協会 職能委員会	県内の看護師	アウトブレイクについて	27名	感染管理認定看護師 (能登)
9月28日	富山医療福祉専門 学校 介護福祉学 科2年生	専門学生	標準予防策・経路別予 防策 口腔内吸引法・経 腸栄養法について、個 人防護具着脱訓練	14名	感染管理認定看護師 (能登)
10月22日	新川厚生センター	新川地域の看護 師	感染対策について・PP E装着手洗い演習	48名	感染管理認定看護師 (能登)
11月14日	富山感染管理認 定看護師	医療施設・介護施 設の看護師、介 護に従事	感染管理認定看護師 によるセミナー精神科 分野:疥癬	54名	県内の感染管理認定 看護師(講師:能登)
11月30日	訪問看護ステー ションちよろく	看護師・介護士・ 介護福祉士	感染症について	80名	感染管理認定看護師 (能登)
12月12日	新川地域在宅医 療療養連携協議 会	医師・看護師・介 護士・介護福祉 士・薬剤師・保育 士など	具体的な冬場の感染 症対策～ノロウイルス 等感染性胃腸炎・イン フルエンザ感染対策・ 嘔吐物処理演習	73名	感染管理認定看護師 (能登)
1月13日	あさひ総合病院	全職員	院内感染対策研修会: 感染性胃腸炎・インフ ルエンザ等の感染対 策・嘔吐物処理演習	130名	感染管理認定看護師 (能登)
3月5日	富山県院内感染 対策協議会(初級 コース:富山県医 師会)	県内の医師・看護 師・薬剤師・検査 技師等	感染症患者の対応と感 染予防策～ノロウイル ス、インフルエンザ、疥 癬～	200名	感染管理認定看護師 (能登)